

## 開校検討委員会の役割等について

### 1 開校検討委員会の役割

基本構想の策定に関すること

(基本構想：何を目指すか・なぜ行うかの理念や方向性を定めたもの／基本設計：どのように実現するか具体化したもの)

ビジョンと整備方針を踏まえつつ、特に以下の必要項目 3 点の協議

- ①教育課程編成の基本的な考え方（学年の区切り）
- ②義務教育学校の整備の基本的な方向性
- ③建設予定地及び建設形態

開校準備委員会の設置に関すること

検討すべき課題の協議

### 2 前回までの協議内容と対応

#### 第1回 これまでの取り組み（ロードマップ、ビジョン、整備基本方針）、今後のスケジュールについて

ご意見等	対応
教育課程は早い時期から一貫性を持てるため、やりやすい分野から始めては	開校準備委員会で整理 (開校を待たずに取り組めるものから取り組む)
美幌でしかできない取り組みをカリキュラムに組み込んでほしい 特に英語教育は、学校だけではなく町全体で使える環境を整えてほしい	開校準備委員会で整理 (開校を待たずに取り組めるものから取り組む)

## 第2回 道内先進地事例の紹介、基本構想に必要な項目について

### グループワーク（新しい学校づくりに期待すること・課題となること）

ご意見等	対応
日照権の配慮	基本設計で整理
美幌小学校の老朽化対応（雨漏り等の修繕費用）	基本設計で整理し、老朽化対応に必要な整備工事を実施
子どもファーストでの環境整備に努め、ソフトもハードも政治や利権が絡まないよう に進めてもらいたい	子どもファーストに十分留意の上、事業を進める
全児童生徒が同時アクセス可能なＩＣＴインフラ整備に取り組んでもらいたい	<u>基本構想素案に反映</u> 具体的な整備は基本設計で整理
工事期間中は、児童生徒に危険が伴わず、快適な学習環境の中進めてもらいたい  児童生徒の安全を確保した中で、スクールバスを止め、走行ができる環境を準備しなければならない	基本設計で整理し、児童生徒の安全や学習環境、周辺の住環境に配慮した整備工事を実施
周辺への住環境の配慮（送迎車両の往来など）	
サブ校舎を作り、特定の授業のみサブ校舎で行うことはできないか	基本設計で整理 (学校規模の精査により判断)
教育相談室、視聴覚室を各2室増設  遠隔授業ができる専用教室の増設  エアコン整備（特別教室には完備されていない）  保健室の確保（2室）	基本設計で整理
学童の教室をきちんと備えてもらいたい  地域の方々が避難できる機能を備えてもらいたい	<u>基本構想素案に反映</u> 具体的な整備は基本設計で整理

ご意見等	対応
サブアリーナの建設	<p><u>基本構想素案に反映</u></p> <p>具体的な整備は基本設計で整理</p>
メインアリーナとサブアリーナで不足した場合の対応	<p>基本設計で整理 (学校規模の精査により判断)</p>
図書館の増設（町民が利用できるように。現図書館の老朽化を考慮。勉強の場の確保や多世代の交流や見守りの場として）	<p>図書館の増設は、敷地の規模から現時点では難しい</p>
給食センターは美小に移設するのか	<p><u>基本構想素案に反映</u></p> <p>(給食センター併設の検討)</p> <p>具体的な整備は基本設計で整理</p>
のびのびとゆったりするスペースで学んでほしい 義務教育学校にすることでのメリットをつぶさないように ただ1つにするのではなく、グレードアップする心構えを大切に 先進地の流れに縛られず、町独自の仕組みを作っていく	<p>基本設計、開校準備委員会で整理するが、ハード・ソフト両面で町の特色ある内容となるよう配慮する</p>
45分や50分の授業ではなく、30分授業で授業数を増やすという方法もある 子どもの成長に合わせて授業時間の設定を柔軟に	<p><u>基本構想素案に反映</u></p> <p>具体的な取組みは開校準備委員会で整理</p>
運動会について、800人規模になると時間帯を分けて開催になるか P T A交流会の見直し	<p>開校準備委員会で整理</p>
図書館司書の常駐、教職員の配置 先生の働きやすい環境づくり（カウンセリング） 校内の児童生徒数・学年層が幅広となることで、教員不足が想定される	

ご意見等	対応
<p>大学（東大・北大）や高校との連携（世代間交流）</p> <p>町民開放や夜間利用</p> <p>地元愛を育てる教育（Uターン者を増やす）</p> <p>美幌高校に行くようなサポートを。町外の高校に行くのではなく、美幌スペシャルを掲げていることから学力面も町外の高校に行かなくても充実した環境のもとで学び、小中高一貫で美幌愛を育んでほしい</p>	<p><b>基本構想素案に反映</b></p> <p>具体的な取組みは開校準備委員会で整理</p>
<p>町外からの移住増（通勤圏の拡大）</p> <p>小中学校の発想を伸ばす（産業や町の施策へ活かす）</p> <p>商店街が近いので、フィールドワークを行えるなど教育活動と連携した取組みができる。教育活動をハブとして、様々な取組みが可能である</p> <p>商店街に防犯カメラを設置することで、登下校の見守りの強化ができる</p> <p>児童生徒の多様性を踏まえ、校内外の機関との連携強化に取組んで欲しい</p>	<p>開校準備委員会で整理</p>
<p>いじめ問題は、いつどこで起こるか予測できないため、全ての教員等が対応できる体制づくりとマニュアルの整備等に期待する</p> <p>学校は、いじめゼロに向けて取組んでいるが、SNS等の普及により難しい世の中となっている。義務教育学校では異年齢同士の縦割り活動で上級生が下級生の面倒をみたりするので、その活動を通して減少することを期待したい。また、職員増により、多くの校内組織を作ることができるため、様々な問題に対応できるよう期待している</p> <p>1校にすることで児童生徒間の問題（いじめ等）に対する不安がある</p> <p>不登校対応を充実させられるような仕組みを作ってほしい。学校内での別室確保や学校の他に教育相談室や自宅など場所の選択肢を作ってあげる</p>	<p>開校準備委員会で整理</p>

- 第3回 義務教育学校の優位性と課題について、グループワーク（新しい学校づくりに期待すること・課題となること）  
※敷地全般・駐車場・かしわの木について掘り下げ
- 第4回 かしわの木の現状について
- 第5回 基本構想素案について、グループワーク（新しい学校の配置イメージについて）

※第3～5回は学校の具体的な配置に関する内容であったため、今後の基本設計の参考とする。

ご意見等	対応
<p>敷地が狭い 教室は足りないため、増築が必要 美幌スペシャルの実現のため限られた敷地を有効活用するため、最低限必要なものがある程度選別して検討することが必要</p> <p>グラウンドの中に色々な施設を設置することは考えない方が良い 増築にあたっては、現在美幌小で学ぶ児童の学習も保障する 屋上が園庭になっているところもあるので、屋上に人工芝を敷くなどしてグラウンドの一部として使用してはどうか 増設校舎の建物の中に、体育館を作つてプラス屋上を作る 中庭に教室を作れないか（既存の学校の中庭の有効活用） 利用の仕方によって、体育館にもできたり、教室にもできたりするようなスペースを作つて活用できないか 既存の遊具で必要なもの・使用してよいものを選定する必要がある 体育館は最低でもサブアリーナが必要だと思う。敷地は限られるので2階建てにするなど検討しなければならない</p>	<p>基本設計で整理 (学校規模の精査により判断)</p>

ご意見等	対応
<p>外部の敷地も利活用できないかを検討 プールはB &amp; Gを活用 美小のグラウンド敷地が狭ければ、東陽小学校をグラウンドとして使うのはどうか 限られた敷地での建設になるので、学童一緒の校舎となると建設できるのか。発達支援センター側に学童をもっていいけないか 部活動等で北中の施設を利用するはあると思うが、普段は学校敷地内で収まり、学校側が管理しやすい施設がよい 主要 5 教科をメイン校舎で行い、カリキュラムによって北中学校をサブ校舎として使用する方法もあると思う</p>	<p>基本設計で整理 (学校規模の精査により判断)</p>
<p>職員駐車場やバスレーンの確保を考えると、敷地が狭い 学校行事での駐車場確保が問題 何台分を確保する必要があるか調査が必要だが、駐車場は足りないとと思われる 校舎がどうなるか決まらなければ駐車場も決まらないかもしねれない 地下駐車場、立体駐車場の検討が必要ではないか 2階にグラウンド、地下駐車場としてはどうか 1階は駐車場、2、3階は校舎になっている学校がある かしわの木を活かしたロータリー化 保護者送迎用のロータリーを準備することで、スムーズに送迎ができるのではないか 行事等で駐車場確保が難しければ臨時のバスを配車することで対応が可能ではないか 発達支援センターを校内へ入れるなど移転することで、駐車場を確保してはどうか 敷地内を優先しつつ、難しければ近くの施設を利用してはどうか 空き家や空き地を買収するなどして敷地を確保してはどうか</p>	

ご意見等	対応
<p>かしわの木はどちらが子供たちの教育環境にとって良いかでの判断になるのでは。      かしわの木を残したことによって子供たちの教育環境が壊されることだけはしたくない。教育環境を優先したい      増築する校舎を配置し、その結果残せたから残して良いのではないか。増築する校舎は、教室やサブアリーナなどもあるため、使い勝手の良い配置や規模にした方が良い      増築する校舎の規模を決め、その配置でかしわの木の扱いを決めれば良い。かしわの木のことばかり気にする必要もないのではないか</p>	<p>基本設計で整理      (敷地内の配置は基本設計で具体化するため、かしわの木に係るこれまでの多様なご意見を踏まえ、基本設計の中で配置を検討し、教育環境の確保のためどうしても支障となるのであれば伐採について議論する)</p>
<p>かしわの木 No. 1・2 は、劣化具合により伐採もやむを得ない      南東側に広く増築できるのであれば、かしわの木 No. 1・2 を伐採するのもやむを得ない      かしわの木 No. 3・4・8 は、安全のため伐採はやむを得ないのではないか      歪な形状の校舎を建てるとき、非常に使い勝手が悪いため支障となるのであれば切るべき。また、かしわの木があることで日陰を気にするのであれば切ってしまった方が良い</p>	
<p>かしわの木 No. 5~9 については、残せるのであれば残しては。      かしわの木は安全面（倒木の恐れ）に配慮することが必要。安全面が担保できるのであれば残すべき</p>	
<p>既存の1階部分を解体して3階建ての校舎を建てる方が、かしわの木も残る案としてあり</p>	<p>既存の1階部分のみを解体することは構造上難しい</p>

ご意見等	対応
<p>東側に駐車場を増設しては Ⅱ案の東側の増築部分は既存校舎から少し離れているが、南東側と同じようにくっつけてしまっては 南東側に増築すると廊下、通路が長くなる 南東側に増築する場合、教室をうまく増やせるのか 南東側に教室を増やした場合、廊下の取り方などが難しいのではないか</p>	基本設計で整理
<p>北側校舎の屋根の改修は可能なのか 北側の増築校舎もデッドゾーンができてしまうので、渡り廊下を2本作るのが良いのでは 北側の増築校舎を1階建てにしたのは良いアイディアだと思う 北側の増築校舎は、生徒の一体感が薄くなってしまうため配慮が必要（疎外感を感じる）。家庭科室や理科室などの特別教室を主とするべき</p>	
<p>グラウンド南側に駐車場を移転しては 遊具の配置場所は、グラウンド南側では遠くなる イベントや行事の際は、町の各施設を活用できるので駐車場面積は足りる</p>	
<p>かしわの木 No. 5～9 の空きスペースの活用方法の検討が必要。遊歩道や完全な芝生にする、憩いの場（ベンチ）、畑（日照的に難しいかも）、ツリーハウスなど</p>	<p><u>基本構想素案に反映</u> (地域と交流できる憩いのスペースの確保) 具体的な整備は基本設計で整理</p>

ご意見等	対応
<p>両側からの通路を確保した方がいい      安全面を考えたときに、通路が一方通行しかないというのは避けたい      Ⅱ案のように東西両側に通路はあったほうが良い。児童生徒数の減少など様々な理由で施設の用途が変わった際、出入り可能な通路が複数あったほうが使いやすい      今と同じように東西に入口があることは良い点だと思う。防災面でも有利</p>	<p>基本設計で整理      (これまで通り東西からの動線を確保)</p>
<p>サブアリーナの配置がどうなるのかは示されていないので、どういった形になるのか      も気になる      一体型で同じ空間で活動するのが良いという提案があったが、1回目の会議でサブアリーナを作ると言っていた。北中の体育館はどうなるのか      今の子供たちの人数で令和13年度の人数を試算しているが、実際はもっと減るので      はないか。その場合はサブアリーナが必要になるのか。もっと有効な使い方はないか</p>	<p>基本設計で整理      (現美小敷地内で授業を完結できることを前提としつつ、部活動など他の場面で既存施設の活用を検討)</p>

## 第6回 基本構想素案について

ご意見等	対応
配置イメージ（P24）は、かしわの木を全て残した図となっており、かしわの木を切れない方向に誘導してしまうのではないか この2パターンに絞ったと誤解を招くのではないか	<u>基本構想素案を修正</u> (配置イメージを削除、文言を調整)
既存校舎の解体について記載があるが（P20）、東陽小学校を残し、マナセンやコミセンの集約化を検討しても良いのでは	開校準備委員会及び役場関係部局内で整理
既存校舎の有効利用の話があったので、解体に関する文言（P20）は削除しては。 入れると解体する方向で考えていると捉えられてしまうのでは	<u>基本構想素案を修正</u> (文言を調整)
小中一貫教育の学校形態（P10）について、美幌町は施設一体型で進めることが決まっていると思うので、解説を入れる必要はないのでは	<u>基本構想素案を修正</u> (文言を削除)
小中一貫教育のメリットが漠然としている ビジョンから載せている部分がわかりにくいとの話があったが、もっと端的な表現で示した方が良いのでは 義務教育学校にすることの目玉やメリットについて、短い言葉でわかりやすく町民に説明できるような形にしてもらいたい これから基本構想を形にして町民の理解を得ていくことになるので、義務教育学校の必要性や魅力をしっかり伝えていく必要がある	<u>基本構想素案と併せて概要資料を作成</u>
美幌町の目玉となるような内容があっても良いのでは	基本設計、開校準備委員会で整理するが、ハード・ソフト両面で町の特色ある内容となるよう配慮する

ご意見等	対応
特別教室の取扱い（P18 学校図書館、特別活動室、理科室などについて）	<p><b><u>基本構想素案を修正</u></b>            (学校図書館の文言を追加、必要室数の調整)            特別活動室は、多目的教室の一部としての使用を想定</p>
オンライン連携や授業のための部屋の確保についてや、全ての児童生徒がタブレットを使用するため学校が一つになっても Wi-Fi 環境が整っていることを基本構想に盛り込んでは	<p><b><u>基本構想素案を修正</u></b>            (Wi-Fi 環境に係る文言を追加)            オンライン連携等のための部屋は、普通教室または特別活動室・多目的教室の使用を想定</p>

### 3 基本構想決定までの今後の流れ

11月18日（本日）	第7回開校検討委員会	…必要項目3点の協議、考え方の整理
11月27日	美幌町教育委員会協議会 第8回開校検討委員会	…基本構想（素案）の意見交換 …基本構想（素案）の確定
12月上旬～中旬	第1回美幌町総合教育会議 美幌町議会への説明	…基本構想（案）の意見交換（町長と教育委員） …基本構想（案）の意見交換
12月中旬～下旬	町民説明会	
12月中旬～1月下旬	パブリックコメント	
2月中旬～下旬	第9回開校検討委員会 第2回美幌町総合教育会議 美幌町議会への説明	…パブリックコメント等の共有、開校準備委員会で検討すべき課題の協議 …基本構想（案）の意見交換（町長と教育委員） …基本構想（案）の意見交換
	美幌町教育委員会定例会	… <u>基本構想の決定（意思決定）</u>